資料３

東京 2020 オリンピック・パラリンピック環境アセスメントにおける仮設施設の取扱い

会場ごとに仮設施設の工事概要や規模等を勘案

環境影響評価の項目の選定について検討

項目を選定する会場

（例）海の森クロスカントリーコース、有明体操競技場、馬事公苑、IBC/MPC

評価書案を作成

全項目を選定しない会場

（例）伊豆マウンテンバイクコース、伊豆ベロドローム

事業計画概要報告書を作成

恒設部分と仮設部分との環境影響を一体的に捉えることが適切と考えられる施設　⇒選手村

予測・評価の見直しを実施、報告

※会場等の変更による実施段階アセス図書のやり直しは行わず、次の段階の実施段階アセス図書又はフォローアップ図書への反映をもって変更とみなすことができる。（東京 2020 オリンピック・パラリンピック環境アセスメント指針　第3章2（1）⑪）